

次期森林計画についての森林管理署の検討方向

〈長崎南部森林計画区〉

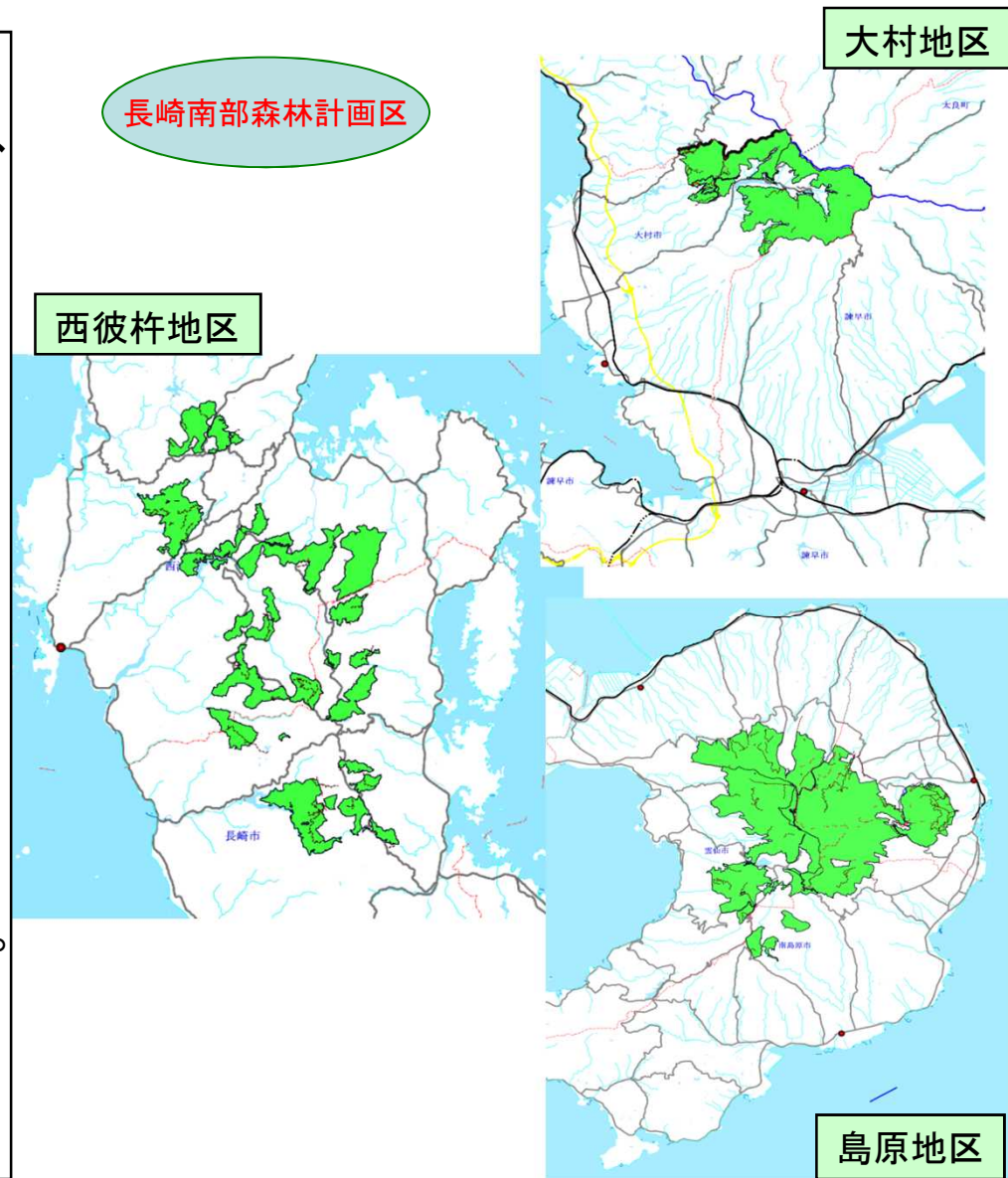
— 目 次 —

1. 現行計画の概要
 - (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項
 - (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項
 - (3) 林産物の供給に関する事項
 - (4) 国有林野の活用に関する事項
 - (5) 国民の参加による森林の整備に関する事項
2. 次期計画の検討方向

長崎森林管理署

1. 現行計画の概要(平成28年4月1日～令和3年3月31日)

- ・長崎南部森林計画区の対象は、県南西部に位置する長崎半島、西彼杵半島、県中央部及び南東部の島原半島からなる国有林野11,895haです。
- ・計画区内の全森林面積の15%にあたり、天然林が42%、人工林が48%、その他無立木地等が10%を占めています。
- ・管理区域のうち制限林が97%を占めており、水源かん養保安林が全体の76%に達し、その多くが雲仙天草国立公園及び多良岳県立自然公園をはじめとする自然公園に指定され、登山などの森林レクリエーションや保健休養の場として多くの人に利用されています。
- ・主な樹種として、カシ類等の天然広葉樹林、スギ、ヒノキ人工林を主体とする水源かん養林等からなっています。



(1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

① 機能類型に応じた管理経営

国有林野の管理経営に関する基本計画に即して、開かれた「国民の森林」に向けた取組を推進するため、個々の国有林野を、重点的に発揮すべき機能に応じて5つの機能類型に区分し管理経営を行っています。

機能類型区分(面積)	機能類型区分の考え方	目指すべき森林の姿
山地災害防止タイプ (2, 698ha)	山地災害の防止及び土壌保全機能の発揮を重視。	根や表土の保全、下層植生の発達した森林。
自然維持タイプ (2, 473ha)	原生的な森林生態系や希少な生物の育成・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を重視。	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の育成・生息に適した森林。
森林空間利用タイプ (328ha)	保健、レクリエーション、文化機能の発揮を重視。	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林。
快適環境形成タイプ (0ha)	快適な環境の形成機能の発揮を重視。	騒音の低減や大気の浄化など、人の居住環境を良好な状態に保全する役割を持つ森林。
水源涵養タイプ (6, 397ha)	水源涵養機能の発揮を重視。	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導を図る森林。 森林資源の有効利用にも配慮。

② 流域管理システムの推進

県・市町村等との密接な連携を図るとともに、組織・技術力・資源を活用し、民有林経営の支援等に積極的に取り組めます。

林業技術向上のための現地検討会を実施しています。



国有林内において、林業事業者、県の林業普及指導員等も参加して、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト・高効率な作業システムに関する現地検討会を行い、民有林への技術の普及に取り組んでいます。

③ 主要事業の実施

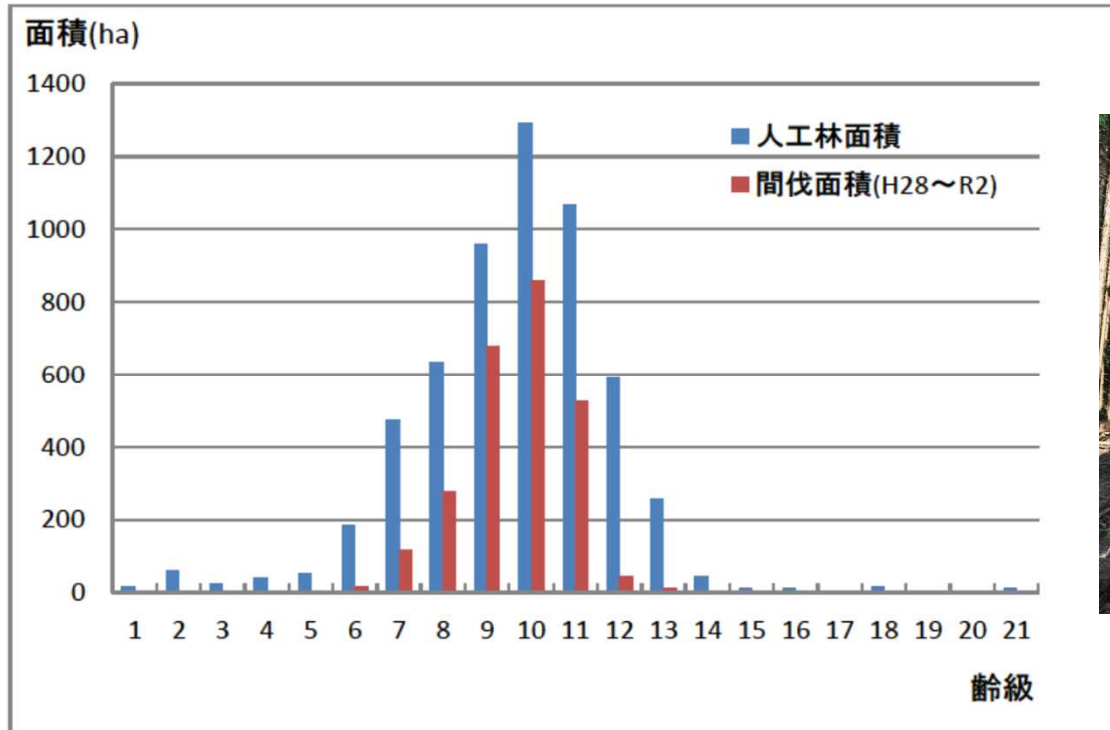
間伐をはじめとした森林整備に積極的かつ着実に取り組むとともに、針広混交林化、複層林化、長伐期化などを通じて、多様で健全な森林の整備・保全を推進します。



④ 持続可能な森林経営

本計画区の人工林の面積は約5,765haで、間伐対象となる16年生から60年生の人工林の面積は約5,304ha（人工林面積の92%）です。

また、現行計画（H28年度～R2年度）では間伐を約2,534ha計画しており、森林吸収源対策のためにも間伐を推進しています。



列状間伐を導入した人工林

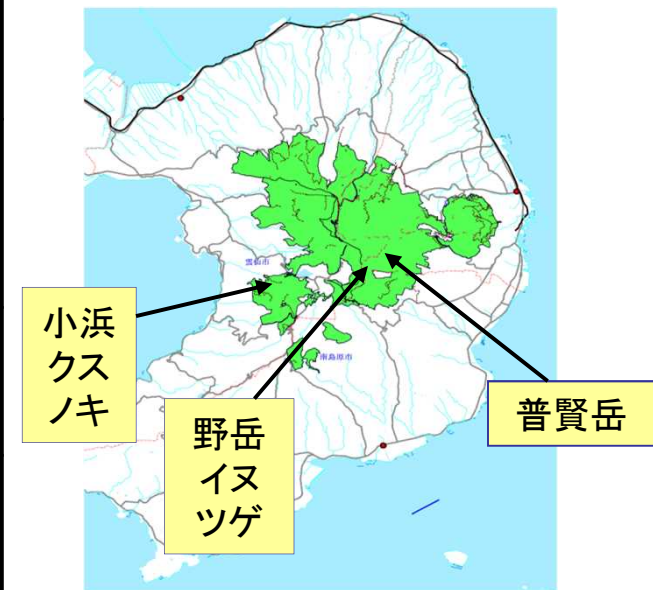
注：1年齢級は1～5年生を表します。

(2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

特に保護を図るべき森林(保護林)

本計画区には貴重な天然林等が多数存在しており、これらについては保護林を設定し、適切に保護・保全を図っています。

種類	名称	概要	面積 ha
生物群集 保護林	普賢岳	山腹上部に位置し、林内は急傾斜地となっている。林相は、イタヤカエデ等を主体にミヤマキリシマ等が混生し群落となっている。	443.41
植物群落 保護林	萱瀬スギ	山腹中部に位置し、林内は緩傾斜地となっている。林相はスギ老齢人工林の旧藩木で、林内の樹冠は疎開となっている。	3.73
	萱瀬ヒバ	山腹中部に位置し、林内は緩傾斜地となっている。林相は、ヒバ老齢人工林の旧藩木で、イヌマキが混生した状態となっている。	0.30
	小浜クスノキ	山腹下部に位置し、林内には、水源地として狭い孕在地がある。林相は、クスノキを主体にタブノキ等が混生している。	3.14
	野岳イヌツゲ	山腹上部に位置し、林内は急傾斜地となっている。林相は、イヌツゲを主体にモミ、カナクギノキ等が混生している。	80.31



(3) 林産物の供給に関する事項 高効率・低コストな作業システムの定着

伐採、造林等の事業の実施の効率化を図りつつ、健全な森林を整備するとともに、木材の需要動向や木材産業の状況等を的確に把握しつつ、国有林材の安定的な供給を推進しています。



林業生産コストの削減を図るため、効率的な間伐の実施、簡易で崩れにくい路網の整備を推進しています。

(4) 国有林野の活用に関する事項

レクリエーションの森の保健・文化的利用の推進

優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林をレクリエーションの森として設定し、地域の方々に提供しています。

種類	名称	概要	面積 (ha)
風致探勝林	田代原	長崎県の東南、島原半島の西部に位置し。雲仙岳山系の北方、九千部、吾妻岳、平石に囲まれた渓谷に広がる盆地である。また、各峰の山頂からの眺望景観も素晴らしい。 林況は、アカマツ、クロマツ及びカシ類、その他広葉樹天然林であり、高山植物、生息動物も豊富である。 放牧共用林野や野営場も中にあり、高原的風景で春から秋にかけてのレクリエーション利用のほか、冬季には樹氷も見られ自然に恵まれた地区である。	61.73



(5) 国民参加による森林の整備に関する事項

国民参加の森林づくり

国有林野をフィールドとした国民参加の森林づくりを推進しています。

未来を担う子供たちを対象とした森林環境教育を実施し、森林づくりの普及活動を推進しています。

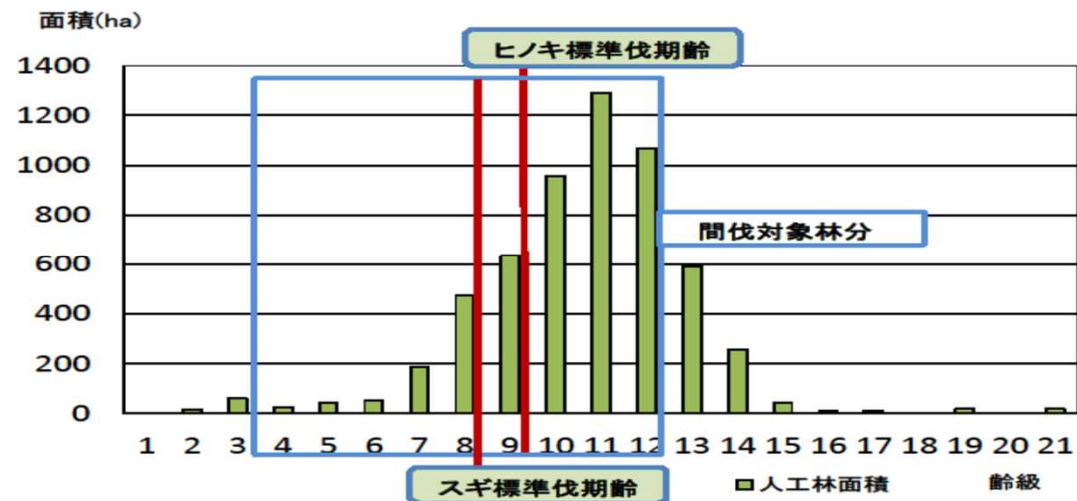


林業体験・学習の場を提供し、森林環境教育の推進に努め、次世代へ森林を継承すべく取り組んでいます。

2 次期計画の検討方向

(1) 管理経営上の課題

- ・本計画区の国有林野が有する水源涵養機能や保健文化機能等の公益的機能の発揮を高め、ていく必要があります。
- ・次期計画においても間伐対象となる16年生から60年生の人工林の割合は82%と高いことから、健全な森林づくりのほか森林吸収源対策の観点からも間伐を推進する必要があります。
- ・将来的に均衡がとれた齢級構成に移行させることに配慮しつつ、主伐とその後の再造林を計画的に推進し、森林資源の循環利用を行うことにより、森林の有する多面的機能の持続的な発揮を図るとともに、森林吸収源対策にも貢献する必要があります。



・本計画区には各種保護林やレクリエーションの森を設定しており、これらの国有林野を適切に管理していく必要があります。



普賢岳生物群集保護林(ミヤマキリシマ)



萱瀬スギ希少個体群保護林

- ・国民参加による森林づくりに関する問い合わせや相談が増加していることから、これらの要請に適切に応えていく必要があります。
- ・国産材の安定供給を実現するため、生産システムのコスト縮減と生産性向上を進める必要があります。
- ・エネルギー原料としての利用等新たなニーズに応えるため、これまで利用してこなかった林地残材等の利用を進めていく必要があります。
- ・国民が安全・安心に暮らせる環境づくりに向けて、治山対策に取り組む必要があります。

(2) 計画内容

- ・公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を行うとの方針の下、多様で健全な森林の整備・保全を行うほか、森林吸収源対策として引き続き間伐を推進するとともに、将来的に均衡がとれた齢級構成に移行させることに配慮しつつ、主伐とその後の再造林を計画的に推進していきます。
- ・貴重な植物種の保護を目的とする保護林及び自然の観察や森林浴などの利用を目的とするレクリエーションの森については、現状を維持していきます。
- ・社会貢献活動として森林づくりに参加・協力したいとする企業等の要請に応えるため、「分収林」制度を活用して、森林整備を推進していきます。
- ・生産システムのコスト縮減と生産性の向上を図るため、簡易で壊れにくい路網の整備を引き続き推進していきます。
- ・これまで利用されてこなかった林地残材等の有効利用を図るため、これらを含む国産材のシステム販売に努めていきます。
- ・民有林と連携して効果的な治山事業の実施に取り組むとともに、地域住民と協働して災害を減らす対策を進めていきます。